学校番号	３１３

令和３年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	前期１ 後期１	年次	３年次
使用教科書	「高校美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自らの手作業を通して創造の素晴らしさを学ぶ「切り絵」を、より高度な技法を用いて制作します。
・卒業後も身近な人や風景などをモチーフに切り絵作品を制作して貰いたいと考えています

２　学習の到達目標

美術の創作活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、芸術活動全般についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c：創造的な技能	d:鑑賞
観点の趣旨	美術の創造的活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	参考作品から感性や創造力を働かせ、その美しさや機能性を感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な表現をするために、各種用具の適切な使用方法を学び、表現の手段としての技能を身に付けている。	身の回りにある美術作品の表現の工夫や美術文化等を理解し、その美しさや機能を創造的に味わっている。
評価方法	作業の態度 ワークシート 作品	作業の態度 ワークシート 制作途中の作品	作業の態度 作品	合評会での発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	「百人一首」を切り絵で表現する	［絵画。デザイン］ ・「百人一首」の絵札を題材とした切り絵の制作。 絵札を拡大し A3 サイズの画用紙に転写。 独自のアレンジを加えて切り絵の原画を作成し、カッターナイフで切り抜く。	○		○		a：２年次に学んだ切り絵の技法を基に、より高度な技術を用いて完成度の高い作品を制作しようとする態度。 b：墨流し技法による色彩と墨流しの模様が持つ独特の表現を理解し、自らの作品に反映しようとしている。 c：和紙や千代紙を用いて、百人一首の絵札に描かれている優美な世界を、自らの感性と創造力で忠実に表現しようとする態度。 d：作品合評を通じて他者の作品の優れた点を理解する。	作業状況の観察 提出作品 鑑賞レポート ワークシート
		・墨流しの技法を用いて和紙に着色する。		○				
		・画用紙の裏面に和紙や千代紙を形に切って貼り付ける。			○			
		・展示用 A3 パネルを作成し、切り絵を添付し、保護ビニールを被せる。			○			
		・制作ワークシートの作成。	○					
		・作品合評会で自らの製作意図を発表する。				○		

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。